



「私たちは、何のために働いているのか？」 ～あなたの「働きがい」は何ですか？～

新年あけましておめでとうございます。

昨年、令和元年は、働き方改革に関連した8つの法律が施行されたことから、「働き方改革元年」ともいわれています。皆さんの「働き方」にはどんな変化があったでしょうか？

そもそも、私たちは何の為に働いているのか？ 働くことには、大きく二つの意味があるといわれています。

一つは「経済的側面」であり、会社から給与を得て生活するということ。

もう一つは、「精神的側面」。働くことを通じて仕事に「やりがい」を感じ、仕事を通じて自分自身の成長を図るといった「生きがい」を見出すことです。「働き方」を改革するということは、この「経済的側面」と「精神的側面」の双方を改革していくことだと思います。

この間取り組んできた「働き方改革」でイメージするのは、残業時間の削減や休暇取得の促進、会議時間の削減や無駄な仕事の削減といった、生産性の向上を目指したのですが、これらはどちらかというと「経済的側面」への意味合いが強かったように思います。

一方、「精神的側面」へのアプローチはというと、ほとんどできていないのが実態ではないでしょうか。

私たちはどんなときに仕事に「やりがい」を感じるのか？ その答えは、人によって異なるものであり、その人のライフステージによっても変化するものだと思います。

また、その人の属するチームや組織のマネジメントやコミュニケーションといった状況が、「やりがい」に大きく影響を与えるということは言うまでもありません。



この為、「精神的側面」の改革を進めるには、様々な観点から、人や組織に応じたアプローチが必要なのはいうまでもありませんが、その第1は、私たち自身が「どうすれば働きがい・生きがいを感じられるのか？」ということを考え、自覚することだと思います。

働き方改革は、会社がやってくれるものでも、組合が実現するものでもなく、私たち一人ひとりが自分と向き合う中で実行していくものだと考えます。その為に、組合としてなにができるのか、制度的なアプローチや組織開発的なアプローチ等、様々な形について会社と建設的な議論を進め、新たな一歩を踏み出していかねばなりません。電機連合静岡地協としましても、皆さんとの連携を深め、真の働き方改革を目指してまいります。引き続きのご支援、ご協力をお願い致します。

皆様にとって、新しい年 2020 年が、実り多き年になりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



電機連合静岡地方協議会
議長 石部 卓

